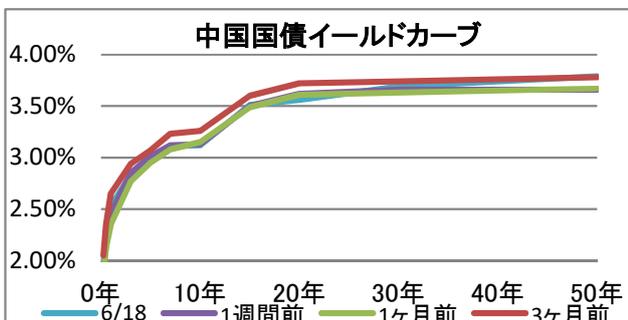
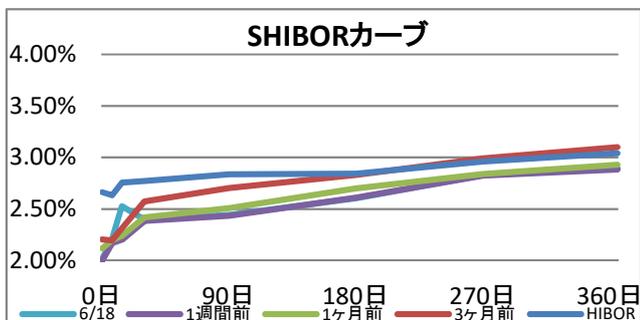


①市場概況

基準レート		2021/6/18	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.4361	0.0505
	JPY/CNY	5.8360	-0.0010
SHIBOR	3M	2.4440%	+0.0100%
国債利回り	10年	3.12%	-0.01%
上海総合指数		3,525.10	-64.65



(1) 概況

インフレ懸念が拭えない状況下で米FOMCを控え、G7やNATO等の国際政治の話題により重苦しい週明けとなり、米FOMCメンバーのタカ派的見通しにより株安、債券高とドル高で週末を迎える憂鬱な一週間となった。米FOMCでは金融政策変更はなかったものの、メンバーの政策金利見直しにおける利上げ時期が前倒しとなっていたことから、株式市場が大幅に下落する一方、債券市場も一旦は下落したものの株式市場の下落や早期利上げによるインフレ懸念の後退から買い戻され、利上げ前に実施される量的緩和縮小も前倒しになるとの懸念からドルが買い戻されてドル高となっている。

中国金融市場では、G7等における中国に対する厳しい姿勢や経済指標が総じて堅調ながら減速傾向となったことから、高値にあった株式市場は下落し、債券市場もいったんは上昇した利回りが低下に転じる動きとなっているものの、変動幅は極めて限定的。

中国の経済指標は、鉱工業生産の担い手が国有企業やインフラ投資から外資を含む民間企業による投資やハイテク分野に置き換わりつつある様子も窺え、外資による中国への直接投資も高水準での増加が続き、深圳の中古住宅価格が下落に転じる等の住宅価格上昇抑制政策の効果も確認されている。このような状況にありながらも、中国政府からは元高や資源価格上昇に対する政策対応やけん制発言に加え、金融機関への規制強化も続いており、中国共産党結成100周年等の重要な節目を前に先行き不透明感を拭い難い状況にあって警戒感を持った経済運営が維持されている。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日500億元とMLF期日2,000億元、中央国庫現金管理商業銀行定期預金期日700億元(前週に700億元新規実行済み)に対し、3月初から続ける毎日100億元のリバースオペと新規MLFの同額実施により対応し、差し引き800億元を吸収している。

(3) 主な経済指標

- ・小売売上高(5月)は、前年比+12.4%(4月+17.7%)と商品販売、飲食収入ともに伸びが鈍化する中、宝飾品や建築資材の増加が目立つ内容となっている。

- ・鉱工業生産(5月)は、前年比+8.8%(4月+9.8%)と国有企業やインフラ関連資材の伸びが低下する一方、民間企業や電気自動車や工業用ロボット、携帯電話等ハイテク機器の生産が高い伸びを維持している。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.0140%	2.0500%	2.0300%	
1W	2.2060%	2.5000%	2.2000%	
2W	2.5270%	2.5500%	2.7000%	1.9000%
1M	2.3980%	2.8000%	2.6000%	2.5000%
3M	2.4440%	3.7500%	2.5500%	2.4500%
6M	2.6060%			2.6500%
9M	2.8300%			2.9200%
12M	2.8950%			2.9400%

中国人民銀行の市場調節に変化はなく、MLFが同条件で維持されて資金需給も安定し、四半期末となる月末は意識されているものの金利水準が大幅に上昇する状況にはなっていない。月末越えとなる2週間が2.70%前後で取引され、ターム物では1ヶ月が2.60%前後で取引されているのを除いて出合いは限定的。

NCDは、引き続き活発な取引が続いており、四半期末となる月末越えの期間の金利が上昇しているものの、それ以外の期間の金利上昇は限定的。ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.50%、3ヶ月物は2.45%、6ヶ月が2.65%、1年が2.95%程度までそれぞれ上昇している。

(2) 米ドル資金(本土内)

	BID	OFFER
ON	0.04%	0.05%
1W	0.05%	0.06%
1M	0.10%	0.12%
3M	0.23%	0.25%
6M	0.30%	0.35%
12M	0.50%	0.55%

資金需給のタイトな状況は徐々に改善しており、ターム物の金利水準は、1ヶ月は0.10%、3ヶ月は0.25%前後での取引が続いている。

③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.96%	2.15%	2.46%	2.73%	3.14%
6M	2.20%	2.29%	2.63%	2.80%	3.21%
1Y	2.53%	2.53%	2.92%	3.00%	3.41%
3Y	2.84%	3.07%	3.29%	3.44%	4.04%
5Y	2.99%	3.23%	3.56%	3.65%	4.45%
10Y	3.12%	3.46%	3.89%	3.97%	4.78%

債券市場では、地方債発行が続き、四半期末を意識した短期債売りにより短期の利回りが上昇する中、中国の経済指標は減速傾向を確認する内容となる一方で米FOMCで早期利上げが示唆されたことから、中長期債の利回りも一旦上昇したものの、インフレ懸念の後退により週末に長めの期間が大きく買い戻される（利回りは低下）展開となった。

イールドカーブは短期の利回りが上昇して中長期債の利回りが低下するベアフラットニングの状況が続いており、クレジットスプレッドは短期において国債の利回り上昇により縮小している以外に大きな変化はなかった。

④ 先物為替市場

	USD / CNY
1W	28.5 / 28.8
1M	139.0 / 141.9
3M	401.0 / 406.0
6M	802.0 / 808.0
9M	1206.0 / 1215.0
12M	1606.0 / 1612.0

対ドル基準レートは、6.4361と前週末比+505pipsのドル高元安、対円基準レートは5.8360と同-10pipsの円安元高と、世界的なドル高と中国当局者の元高率制発言による元安を映じた設定が続いている。国内市場では前週には越えられなかった6.4台で取引が始まり、米FOMC待ちで小動きとなっていたものの、米FOMCでのタカ派的な見通しによるドル高の流れになると週末には6.45付近まで戻しており、週間では昨年9月以来となる大幅な元安となった。

先物は、人民元短期金利が小幅ながら上昇に転じていることや国外からの投資資金流入に加えて、将来のドル決済に備えた動きもあり、スワップ幅は1年物が1600台に拡大している。

⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.37%		2.17%
6M	2.44%	2.63%	2.17%
9M	2.50%	2.77%	2.21%
1Y	2.55%	2.86%	2.23%
3Y	2.78%	3.24%	2.40%
5Y	2.96%	3.48%	
7Y	3.09%	3.64%	
10Y	3.24%	3.81%	

スワップ金利も週半ばまでは小幅に上昇していたものの、週末にかけて債券利回りが低下に転じたことからほぼ前週末水準まで戻している。債券利回りと金利差であるスワップスプレッドは、短期債利回りの上昇幅が相対的に大きい状況が続いていることから短期での縮小が続いている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。